

証券コード：9179

K
"K" LINE KINKAI

株主通信

第56期 2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



シルバープリincess

川崎近海汽船株式會社



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

第56期第2四半期の営業概要ならびに事業内容をご理解いただくために株主通信をお届けします。

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が引き続いており、景気の持ち直しの動きが見られたものの、依然として厳しい状況にありました。

海運業界を取り巻く環境は、外航海運では旺盛な貨物需要を背景に市況の上昇が続き、内航海運では荷動きが堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症により依然として人の移動が制限されたことや、燃料油価格が上昇局面にあることなど、総じて先行き不透明な経営環境になりました。



代表取締役社長 久下 豊

こうした情勢下、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は201億30百万円となり前年同期に比べて10.9%の増収となりました。近海部門での収支改善により、営業利益は7億28百万円となり前年同期に比べて209.3%の増益、経常利益は7億27百万円となり前年同期に比べて449.4%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は5億39百万円となり前年同期に比べて16.6%の増益となりました。

中間（第2四半期末）配当金につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束には依然として時間を要するものと見込まれますが、当社は企業価値の向上と安定した配当の継続を重要施策として位置づけており、1株当たり50円とさせていただくことにいたしました。なお、期末配当金につきましても1株当たり50円を予定しており、年間配当金は1株当たり100円となる予定です。

新型コロナウイルス感染症に起因する厳しい事業環境は今後も続くことが予想されますが、このような状況下においても全ての事業部門を通して環境の変化に柔軟かつ積極的に対応し、持続的な企業価値の向上に努めて参ります。

今後とも株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
財務ハイライト	2
部門別営業概況	3
船舶紹介	4
特集：常陸那珂ー苫小牧航路 デイリー運航20周年	5
トピックス	7
連結財務諸表	9
会社概要・株式の状況	10
株主メモ	裏表紙



財務ハイライト

当第2四半期の業績結果

連結業績

売上高	201億30百万円（前年同期比 +10.9%）
営業利益	7億28百万円（前年同期比+209.3%）
経常利益	7億27百万円（前年同期比+449.4%）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5億39百万円（前年同期比 +16.6%）

連結財務状況

総資産	489億58百万円
純資産	279億10百万円

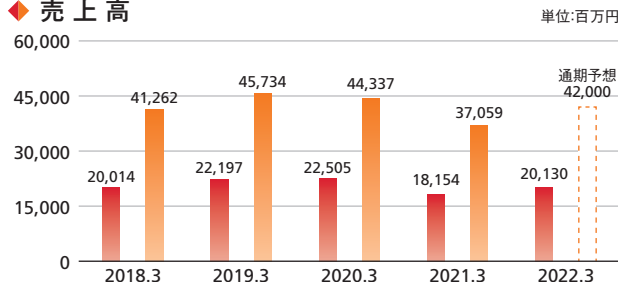
連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー	23億55百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14億72百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13億72百万円

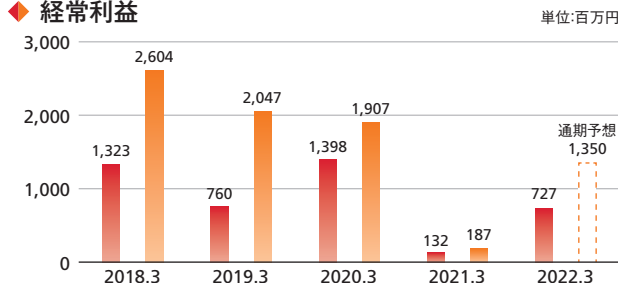
中間（第2四半期末）配当金

1株当たり50円

◆ 売上高



◆ 経常利益



通期の業績予想

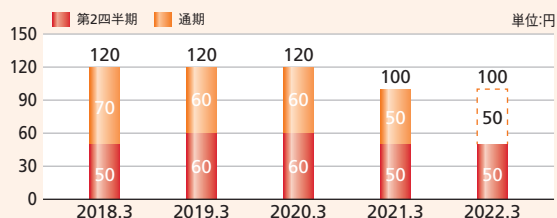
連結業績

売上高	420.0億円
営業利益	14.0億円
経常利益	13.5億円
親会社株主に帰属する当期純利益	9.5億円

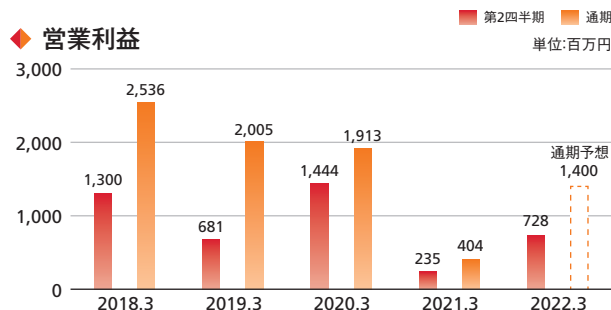
（下期の想定円ドル為替レート 1ドル＝110円）

年間配当金

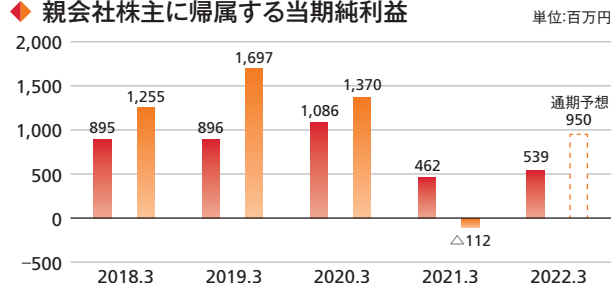
1株当たり100円(中間(第2四半期末)50円・期末50円)を予定



◆ 営業利益



◆ 親会社株主に帰属する当期純利益





部門別営業概況

近海部門

売上高

57億75百万円



●鋼材・雑貨輸送

鉄鋼需要が堅調に推移し、当社グループの輸送量は前年同期を上回りました。

●木材輸送

再生可能エネルギーであるバイオマス発電用燃料は新設された発電所の運転開始などにより輸送需要が増加し、当社グループの輸送量は前年同期を上回りました。

●バルク輸送

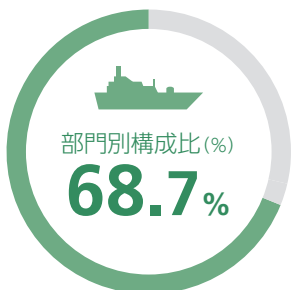
主要貨物であるロシア炭の当社グループの輸送量は前年同期並みとなったものの、積地のロシアにおける滞船の影響などもあり船隊の稼働率が落ちたため、スラグなどの輸送量は前年同期を下回りました。

貨物輸送量が減少した一方で、市況の上昇が続き、運賃収入や賃船料が増加したことから、売上高は前年同期に比べて33.7%増収の57億75百万円となりました。これに伴い営業損益は、前年同期89百万円の損失に対し5億81百万円の利益となりました。

内航部門

売上高

138億35百万円



●不定期船輸送

石灰石・石炭の各専用船は安定した稼働となり、一般貨物船では荷動きの回復により輸送量は前年同期を上回りました。この結果、部門全体では前年同期を上回る輸送量となりました。

●定期船輸送

製紙関連の出荷が落ち込んだ一方で、ウッドショックにより需要が高まっている国産の製材や建設関連の貨物などの取り込みにより輸送量は前年同期を上回りました。

●フェリー輸送

トラックの輸送量は宅配など雑貨貨物の堅調な荷動きや設備投資関連の貨物及びコンサート機材等の輸送需要の回復によって前年同期を上回り、旅客と乗用車についても、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による移動制限が課されるなか、大幅に落ち込んだ前年同期を上回りました。また、6月には個室を大幅に増やした新造船「シルバーブリーズ」を八戸／苫小牧航路に投入いたしました。

売上高は前年同期に比べて5.8%増収の138億35百万円となりました。営業損益については、前年同期に比べて入渠費や減価償却費が減少した一方、燃料油価格の高騰による燃料費の増加などにより、前年同期に比べて9.5%の減益の5億1百万円の利益となりました。

OSV部門

売上高

5億17百万円



●オフショア支援船事業

連結子会社である株式会社オフショア・オペレーション（12月決算会社）が事業遂行を担っており、サブライ業務及びサルベージ業務などに従事しました。また、2月に竣工した

同社新造船「かいこう」を加えた船隊整備を進めるなか、6月には洋上風力発電の支援船事業を推進するため、川崎汽船株式会社と合併でケイライン・ウインド・サービス株式会社を設立いたしました。

売上高は海洋調査業務が大幅に減少したことなどにより前年同期と比べて31.5%減収の5億17百万円となりました。営業損益は、売上高の大幅な減少により前年同期2億29百万円の損失に対して3億54百万円の損失となりました。

船舶紹介

近
海
部
門

計 **18** 隻

鋼材・雑貨輸送

日本から東南アジア向けに鋼材、鉄道車輛等を輸送しています。

木材輸送

マレーシアから日本向けに合板・製材、繊維板用チップを輸送しています。バイオマス燃料として、マレーシア、インドネシアから日本向けにPKS (ヤシ殻)、ベトナムから日本向けに木質ペレットを輸送しています。

バルク輸送

ロシア、インドネシアから日本向けに石炭、北米から日本向けに穀物、フィリピンから日本向けにドロマイト、タイからフィリピン向けに石膏、日本から韓国向けにスラグ、日本からシンガポール向けにセメントを輸送しています。



TROPICAL SENTOSA



CARAVEL

内
航
部
門

8 隻

不定期船輸送

鉄鋼副原料である石灰石及び電力用石炭のほか、国産材、石膏、鋼材などの多様な物資を日本各地に輸送しています。



美津川丸

7 隻

定期船輸送

貨物を積載したトレーラーやトラック、建設機械等の無人航送を行う「RORO船」定期航路を関東―北海道間、関東・中部―九州間で運航、様々な品物を輸送しています。



ほっかいどう丸

5 隻

フェリー輸送

本州と北海道を結ぶ重要基幹航路として、宅配貨物や生鮮食料品など人々の暮らしに必要な物資を輸送しています。



シルバーティアラ

O
S
V
部
門

5 隻

オフショア支援船事業

国内最高性能を誇るオフショア支援船「あかつき」をはじめ合計5隻のオフショア支援船が海洋資源調査／探査支援、海洋構造物の曳航／設置等での海洋開発及び海難救助等で活躍しています。



あかつき



トピックス

TOPICS

1

「ケイライン・ウインド・サービス株式会社」設立

当社と川崎汽船株式会社は、国内の洋上風力発電を対象とした作業船事業の合併会社「ケイライン・ウインド・サービス株式会社」（略称：KWS）を6月1日に設立しました。

政府の掲げる「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」において、洋上風力発電を重点分野の一つに位置付け、同事業のサプライチェーン形成に取り組むこととしています。KWSは、川崎汽船グループがこれまで国内外のオフショア支援船事業を通して蓄積してきた知見と経験を統合し、また当社グループが保有・運航するOSV（オフショア支援船・Offshore Support Vessel）「あかつき」、「かいこう」を活用し、洋上風力発電事業の調査、建設、操業などに係る作業支援にさまざまな形で貢献することで、洋上風力発電の発展に寄与することを目指して参ります。

会社概要



商 号	ケイライン・ウインド・サービス株式会社
所 在 地	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号
資 本 金	2億円
事業内容	洋上風力発電に関する海洋作業支援船事業 海上運送事業 港湾運送事業 船舶の売買 再生可能エネルギー関連事業 上記に付帯するまたは関連する一切の事業
出資比率	川崎汽船 50%、川崎近海汽船 50%
役 員	代表取締役社長 久下 豊 常務取締役 金森 聡



あかつき



かいこう

組織変更（「IT・DX推進室」の設置）

デジタル社会の到来に伴い、DX（デジタルトランスフォーメーション）プロジェクトの推進をさらに強化することを目的として、本年7月1日、従来の「情報システム室」から「IT・DX推進室」に名称変更 及び 同室内に「DX推進プロジェクト統括チーム」を設置いたしました。

新組織の発足に伴い、当社は全社を挙げてDXを推進し、従来のビジネスモデルにとらわれることなく、ステークホルダーの皆様により新しい価値創造と生産性の向上に積極的にチャレンジして参ります。



情報システム室



IT・DX推進室

DX推進プロジェクト統括チーム

表紙の船

The Ship on the Cover

「シルバーブリーズ」

「シルバーブリーズ(SILVER BREEZE)」は、2021年1月27日に内海造船株式会社瀬戸田工場にて進水いたしました。

船名は当社フェリーの愛称である“シルバーフェリー”と、気持ちやすらぐ心地よい“そよ風”を合わせて名づけられました。客室は緑と木のテイストを基調とした、心やすらぐ船内が特徴です。



シルバーブリーズ・特等室

船舶概要

総トン数	8,901t
全 長	144.1m
航海速度	20.0ノット
旅客定員	400名
特等室 6名 (3室)、1等室 28名 (10室)、2等寝台 56名 (56室)、2等室 232名 (座席指定)、ドライバースループ 78名	
車両積載能力	
トラック70台 (12m換算)、乗用車30台	
就航航路	
八戸／苫小牧航路	
八 戸 17:30発 ▶ 苫小牧 翌日01:30着	
苫小牧 05:00発 ▶ 八 戸 13:30着	



連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

資産の部	当第2四半期末 2021年9月30日現在	前期末 2021年3月31日現在
流動資産	18,921,349	18,948,251
固定資産	30,037,130	29,987,950
有形固定資産	26,652,075	27,211,535
無形固定資産	126,675	98,680
投資その他の資産	3,258,378	2,677,734
資産合計	48,958,479	48,936,201

負債の部	当第2四半期末 2021年9月30日現在	前期末 2021年3月31日現在
流動負債	10,041,828	9,146,799
固定負債	11,005,835	12,352,920
負債合計	21,047,663	21,499,720

純資産の部	当第2四半期末 2021年9月30日現在	前期末 2021年3月31日現在
株主資本	26,433,560	25,876,559
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,252,800	1,252,800
利益剰余金	22,841,042	22,284,041
自己株式	△ 28,932	△ 28,932
その他の包括利益累計額	569,742	505,391
その他有価証券評価差額金	262,880	214,925
土地再評価差額金	123,543	123,543
為替換算調整勘定	134,399	114,440
退職給付に係る調整累計額	48,919	52,481
非支配株主持分	907,512	1,054,530
純資産合計	27,910,816	27,436,481
負債純資産合計	48,958,479	48,936,201

第2四半期連結損益計算書 (要約)

(単位：千円)

	当第2四半期 累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	前第2四半期 累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
売上高	20,130,521	18,154,310
売上原価	17,224,337	15,903,589
売上総利益	2,906,184	2,250,720
販売費及び一般管理費	2,177,700	2,015,162
営業利益	728,484	235,558
営業外収益	62,911	27,813
営業外費用	63,434	130,871
経常利益	727,961	132,500
特別利益	—	369,201
税金等調整前四半期純利益	727,961	501,701
法人税、住民税及び事業税	368,692	114,130
法人税等調整額	△32,889	△19,240
四半期純利益	392,158	406,810
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△147,018	△55,494
親会社株主に帰属する四半期純利益	539,176	462,305

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位：千円)

	当第2四半期 累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	前第2四半期 累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,355,277	1,583,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,472,337	△1,237,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,372,094	275,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,208	△26,612
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△475,945	594,793
現金及び現金同等物の期首残高	12,366,446	10,166,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,890,500	10,761,009

記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。



会社概要

(2021年9月30日現在)

社名	川崎近海汽船株式会社 KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA,LTD.
設立	1966年(昭和41年)5月1日
本社	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号
資本金	23億6,865万円
代表者	代表取締役社長 久下 豊
従業員数	517名(グループ会社含む)
主な事業内容	海上運送事業 海洋作業支援船業 等

役員	代表取締役会長 赤沼 宏
	代表取締役社長 久下 豊
	専務取締役 佐野 秀広
	常務取締役 寅谷 剛
	常務取締役 小山 卓三
	常務取締役 川崎 誠司
	取締役 山崎 壽夫
	取締役 岡田 悦明
	取締役(社外) 陶浪 隆生*
	監査役(常勤) 西浦 廣明
	監査役(社外) 鈴木 修一*
	監査役(社外) 倉富 正敏*

(注)* 陶浪隆生・鈴木修一・倉富正敏は東京証券取引所の規則に定める独立役員として届け出ております。



株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行済株式の総数 2,952,500株(自己株式17,019株を含む)

株主数 2,042名(前期末比 53名増)

大株主(上位10名)

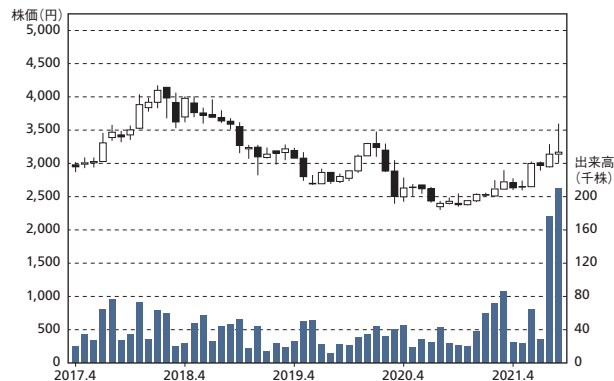
株主名	当社への出資状況	
	株式数 (百株)	持株比率 (%)
川崎汽船株式会社	14,040	47.8
東京海上日動火災保険株式会社	1,104	3.8
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	899	3.1
損害保険ジャパン株式会社	611	2.1
川崎近海汽船従業員持株会	598	2.0
佐々木 保典	468	1.6
株式会社日本カストディ銀行	386	1.3
北海運輸株式会社	350	1.2
三井住友海上火災保険株式会社	336	1.1
株式会社栗林商会	304	1.0

(注) 持株比率は、自己株式(17,019株)を控除して計算しています。

株式の所有者別状況



株価及び株式売買高の推移(2021年9月末現在)



※株価及び出来高は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

川崎近海汽船株式會社

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号 (〒100-0013)
TEL:03-3592-5800 FAX:03-3592-5911

株主メモ	
■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■同上権利行使株主確定日	3月31日
■期末配当金受領株主確定日	3月31日
■中間(第2四半期末)配当金受領株主確定日	9月30日
■基準日	上記確定日のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
■株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵送物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
■公告方法	電子公告により行います。公告掲載URL (https://www.kawakin.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
■住所変更、単元未満株式の 買取等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
■未払配当金の支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
■配当金計算書について	配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。 株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

当社IRサイトをご活用ください。➡ <https://www.kawakin.co.jp/ir/>
当社ホームページでは、プレスリリースや決算情報等を掲載しております。ぜひご活用ください。